

JAとりで通信

第321号 2017年6月29日



発行 JAとりで総合医療センター 〒302-0022 茨城県取手市本郷 2-1-1 E-mail: toride@medical.email.ne.jp 発行人 新谷 周三
TEL 0297(74)5551 (代) URL http://www.toride-medical.or.jp/

患者会のご紹介



透析患者さんの患者会である、「JAとりで総合医療センター腎友会」の皆さんが、6月11日の日曜日に



奉仕活動に参加された皆さん

「久しぶりに運動になりました」 「腎友会」が社会奉仕活動

この活動は、茨城県腎臓病患者連絡協議会が透析患者さんに呼びかけて行っており、今年で3回目となります。今回はご家族の方を含めて13名が参加。病院周囲の道路沿いや駐車場などを歩きながら、タバコの吸い殻などを拾ったりして清掃活動を行いました。参加された70代の男性は、「アールグレイ歩いて、久しぶりに足の運動になりました」と笑顔で話され、冷たい麦茶を口にされていました。暑い中、ありがとうございました。

調理実習で作ったお料理です！

患者会の糖友会と腎友会では、管理栄養士の指導の下で、季節の野菜などを使った調理実習を定期的に行っています。



血液透析食



- チキン南蛮
- オイスターソース炒め
- フルーツ寒天

糖尿病食



- 豚肉の野菜巻き
- トマトと豆腐の酸辣湯(スーラータン)風
- 新玉ねぎのじゃこサラダくだもの

地域の健康と安全のため

出前講座を開催



当院では、市内の公民館などで健康講話を行う出前講座を行っています。6月に行った「寺原女性学級」の皆さんと、「16 創年の会」の皆さんへの出前講座をご紹介します。



講義中の様子

「寺原女性学級」 転倒予防について

～体力測定や運動療法も体験～

講師 リハビリテーション部
理学療法士 寒河江純平

「寺原女性学級」の皆さんへの出前講座が6月13日に寺原公民館で行われ、18名の方が参加されました。昨年に続いて2回目となります。今回は、「転倒予防について」というテーマで、リハビリテーション部の理学療法士(寒河江純平)が講演し、体力測定や運動療法は、同行した技士も一緒に指導しながら行われました。技士から転倒予防が健康寿命の向上にもつながるとの説明があると、メモを取りながら聴いている方もおられました。「いち、さーん」と掛け声をかけながらのステップ動作や、コーンを回り戻って来るまでの



体力測定の様子

時間を測るコーナーでも笑顔がこぼれていました。技士との「後だしじゃんけん」に勝ち残った方には、皆さんが拍手するなど、楽しみながら参加して頂きました。終了後は、「大変、ためになりました」と声をかけて頂きました。ご参加頂き有難うございました。

「16 創年の会」

防災と高齢者のけが
～応急処置に使える
日用品も紹介～

救急看護認定看護師 染谷 泰子

6月17日の土曜日、藤代公民館で「16 創年の会」の皆さんへの出前講座が行われ、15名の方が参加されました。「防災と高齢者のけが」というテーマで、当院の救急看護認定看護師の染谷泰子が講演しました。東北豪雨災害の被害件数な



講義中の様子

ことから、改めて災害の恐ろしさを振り返り、DMAT(災害派遣医療チーム)の活動も紹介されました。高齢者のけがや事故の防止については、転倒を防ぐために家屋内の段差の解消や、滑り止めなどの具体的な対策が説明されました。



応急処置の説明

また、打撲や骨折時の応急処置の方法についても、傘や雑誌、段ボール箱などを活用して解説しました。参加者の皆さんからは入浴時の注意点や、水書時に屋根の上に避難した場合のことなど、たくさん質問が出され関心の高さがうかがえました。「16 創年の会」の皆様、熱心に参加いただき有難うございました。

糖尿病について

糖尿病の合併症 (9) 慢性合併症 (三大合併症)

内分泌代謝内科部長
糖尿病センター長 今井 泰平

糖 尿病は、慢性的な高血糖状態が、全身の臓器の障害(合併症)を引き起こす疾患です。合併症には、急性合併症と慢性合併症があり、慢性合併症は、糖尿病になってから長期間(数年以上)たつてから出現し、

徐々に進行していきます。臓器の機能不全が障害として残り、いったん出現するとほとんど回復しません。今回は糖尿病の慢性合併症についてお話しします。

慢 性合併症は血管、特に細い血管に起る障害(細小血管症)で、血管の豊富な場所(腎臓・眼)と神経系に生じやすく、糖尿病に特徴的な三大合併症(糖尿病性腎症・糖尿病性網膜症・糖尿病性神経障害)といえます。覚えやすいように「しめじ(しんけい・め・じんぞう)」といったりします。合併症の出現する順番も、しめじ:神経障害・網膜症・腎症となっています。一方、細小血管症に対して比較的太い動脈に起る障害を大血管症といい、動脈硬化症のことをさします。

糖 尿病性腎症は、高血糖や高血圧により腎臓の糸球体などに障害がお

こり、微量のタンパク(アルブミン)が尿に出てきます(早期腎症)。10年程で発症しますが、症状は徐々に増え、尿タンパクが増え、むくみが出てくるようになります(顕性腎症)。

び出現するとやっかいなことに治療は困難です。糖尿病治療の目的は、血糖や血圧・脂質などを良好な状態に保つことにより、このような合併症を予防し進展を防止することです。



人の動き
採用(5月)
橋本 葉 看護師

糖 尿病性神経障害は末梢神経の障害で、手足のしびれや痛み、感覚異常などの症状がでてきます。自律神経の障害は下痢や便秘、立ちくらみ、発汗異常、排尿障害、勃起障害(E・D)など、実にさまざまな形で全身にあらわれます。また感覚鈍麻があると、足にやけどや傷ができても気づきにくく、潰瘍や壊疽などに進行してしまうことがあります。

糖 尿病性網膜症は、5〜10年程で眼の中の網膜の血管が障害されて発症します。最初は無症状のため、眼底検査を受けなければ見つかりません。この段階(単純網膜症)では血糖コントロールをよくすることで改善することもありますが、さらに進行(増殖前網膜症・増殖網膜症)すると視野異常や視力低下がおこり、最終的には失明してしまいます。

さらに進行すると老廃物が血中にたまり(尿毒症)、貧血や肺水腫といった危険な状態(腎不全)となり、人工透析が必要になります。最近では糖尿病性腎臓病(DKD)ともいわれ、透析導入の原因の第1位であり、毎年一万六千人が透析になっています。

慢性合併症は、ひとた

院内保育所から お誕生日おめでとう

兼村 瑠奈 (かねむら るな) さん

4さい

平成25年6月4日生まれ



表情やしぐさ、笑顔が可愛いよ。大人が驚くような、いたずらもするよね!こらっと思うけど、おもわず苦笑。いつも笑いをありがとう。これからも、元気にお友達といっしょ遊んでね。・・・お母さんより

清水 弓愛 (しみず ゆあ) さん

2さい

平成27年6月24日生まれ



毎日元気いっぱい、食べるの大好き弓愛ちゃん!歌とダンスが大好きで、自作のうたダンスでいつも笑わせてくれます。これからもいっぱい食べて、いっぱい遊んで大きくなってね。お誕生日おめでとう。・・・お母さんより

山田 瑛太 (やまだ えいた) くん

2さい

平成27年6月27日生まれ



トマトが大好きな山田くん。最近は、追いかっこやジャンプをしたり、歌も歌ってとにかく元気!元気!泣き虫で甘えん坊な所もあるけれど、これからも元気イッパイ大きくなってね。お誕生日おめでとう。・・・お母さんより

湯原 実咲 (ゆはら みさき) さん

2さい

平成27年6月30日生まれ



身体を動かすことが大好きで、最近はジャンプやボール投げが上手にできるようになりました。スカートをはくと「かわいいね」と喜ぶ女の子らしい一面も出てきました。これからもいっしょ遊んで泣いて大きくなってね。・・・お母さんより

平成28年度 患者さんへのアンケート結果をご報告します

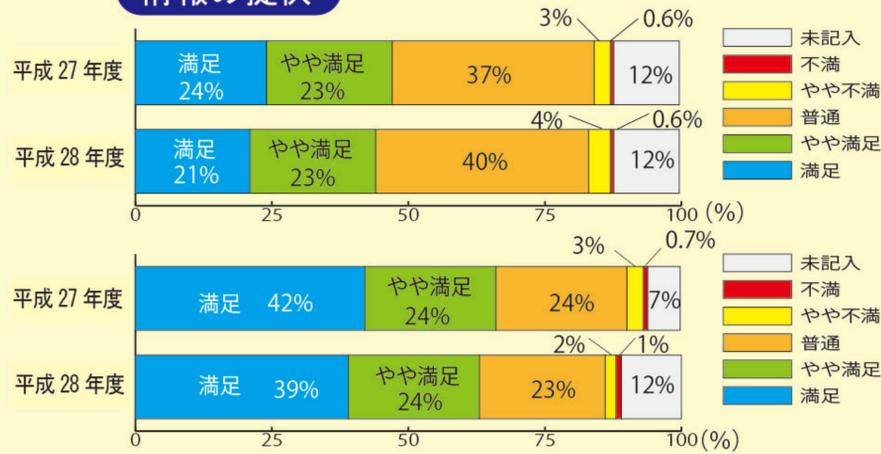
当院では、毎年患者さんへのアンケート調査を行っています。調査項目は、職員の接遇など5項目（細部では、外来が31項目、入院が33項目）に分けています。

調査期間 外来 平成29年1月16日～1月21日
 入院 平成29年1月10日～1月24日
 調査対象 外来 300人 入院 200人
 回収率 100%

外来

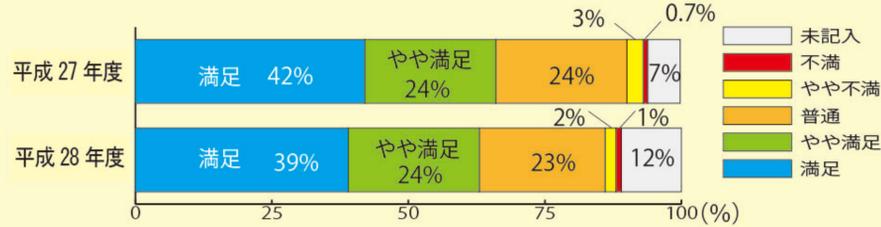
満足・やや満足が44%（昨年47%）と、昨年より低下がみられました。分かりやすい情報提供を今後とも行っていききたいと思います。

情報の提供



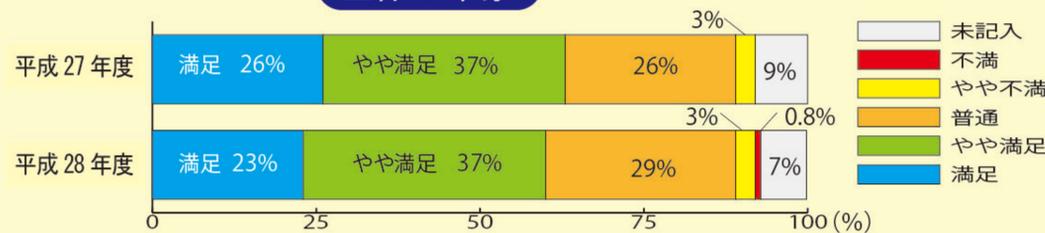
入院

満足・やや満足が63%（昨年66%）と、前年よりも少し落ち込みがみられました。昨年度の他地域での自然災害のことを考えると、当院の災害・緊急時の対応は充分とは言えません。不安をできるだけ軽減するよう、今後も情報提供を図ってまいります。



全体の印象

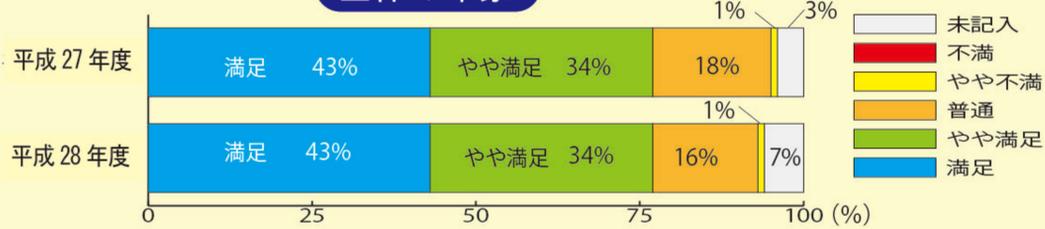
外来



満足・やや満足が60%（昨年63%）とまずまずの評価をして頂きました。病院職員全員が、接遇に対する意識をもつことは今後とも重要かと考えます。施設面はかなり不利な点もありますが、それを感じさせないような、満足していただける医療サービスを提供していきたいと思ひます。

全体の印象

入院

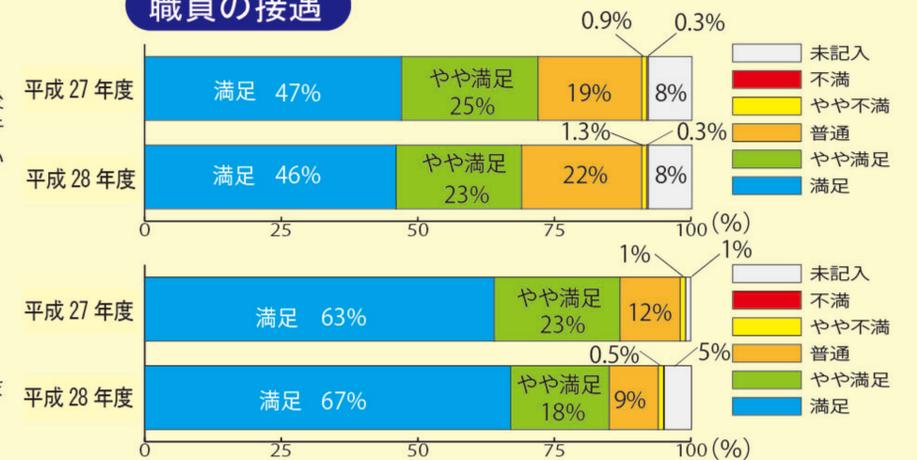


満足・やや満足が77%（昨年77%）と、前年と同じくらい良い評価をして頂きました。施設面ではどうしても不利な点がありますが、各職員の接遇等のサービスについては今後とも気をつけてまいりたいと思ひます。

外来

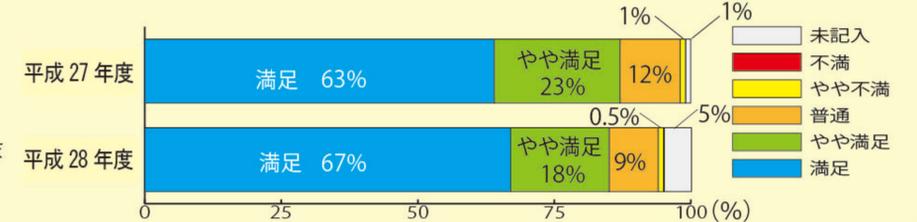
満足・やや満足が69%（昨年72%）と、昨年からはやや低下していました。今後も接遇面での研修については継続して行い、各職員のレベルアップを図ってまいります。

職員の接遇



入院

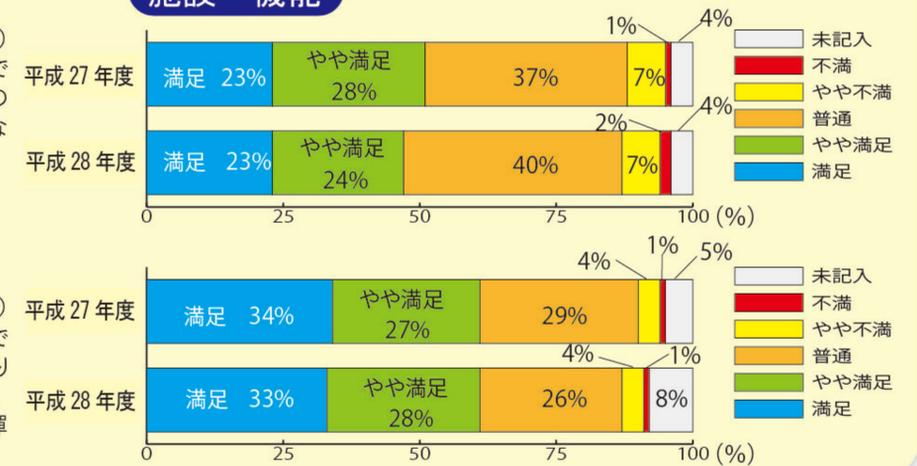
満足・やや満足が85%（昨年86%）と、前年と同様に高い評価を頂きました。今後も維持できるように研鑽してまいります。



外来

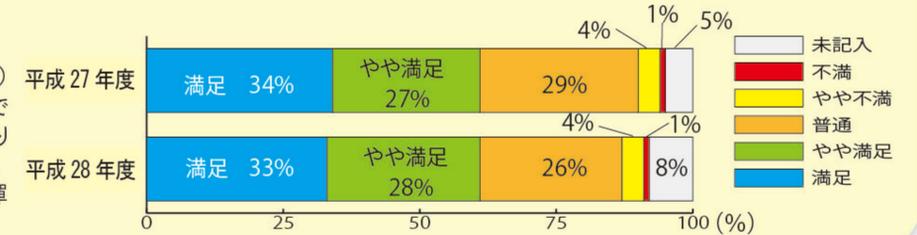
満足・やや満足が47%（昨年51%）と昨年より低下がみられました。今後でもできる限りの改善をすすめてまいりますので、ご了解をお願いいたします。気になる点がありましたらご指摘ください。

施設・機能



入院

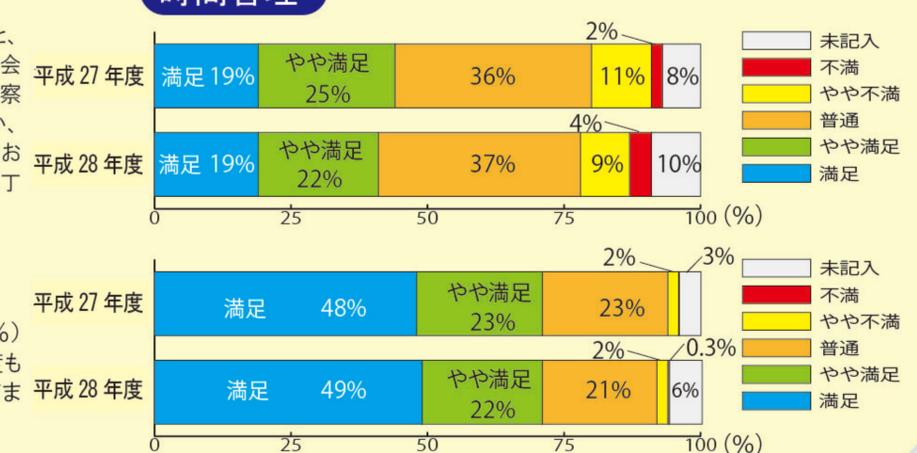
満足・やや満足が61%（昨年61%）と昨年とほぼ変わりませんでした。改善できる点については、順次検討してまいりますので、ご了解をお願いいたします。今後も気になる点がありましたら、忌憚なくご指摘ください。



外来

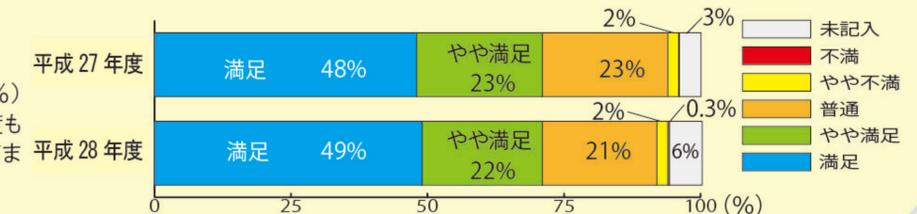
満足・やや満足が41%（昨年44%）と、昨年とおおむね変わりありませんでした。会計の待ち時間は短縮したようですが、診察や薬の待ち時間は患者数の増加のためか、あまり改善していませんでした。ご不便をおかけして申し訳ありませんが、その分、丁寧な対応を心がけてまいります。

時間管理



入院

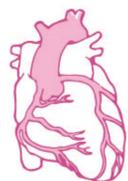
満足・やや満足が71%（昨年71%）とあまり変わりありませんでした。今年度も円滑な入院療養ができるように心がけてまいります。



JA とりで総合医療センター医療講演会 「高齢者の心臓病」

日時 2017年7月29日（土）午後2時～4時
 会場 JA とりで総合医療センター 3階講堂

- 心不全予防のためにできること
循環器内科医師 中村 峻 先生
- 高齢者の虚血性心疾患
循環器内科医師 笠野 健介 先生
- 心房細動について
循環器内科科長 吉原 弘高 先生



主催 取手市井野台町内会
 共催 JA とりで総合医療センター
 取手市本郷 2-1-1 電話 0297-74-5551 (代)

「取手プロジェクト」 認知症安心医療登録

認知症患者さんが行方不明などになった場合、警察が迅速に捜索し、安全に保護するため、認知症患者さんを、事前に病院に登録する制度です。



登録方法

- 外来（当院又は取手北相馬保健医療センター医師会病院）を受診し、「認知症安心医療登録カード」を病院へ提出する。
- カードを病院と自宅で保管する。

お問い合わせ JA とりで総合医療センター 内科外来
 電話 0297-74-5551 (代)